



西二小だより

須賀川市立西袋第二小学校
平成19年5月18日 第12号
発行者 校長 吾妻 敦

www.nishibukuro2-e.fks.ed.jp/ E-mail:school@nishibukuro2-e.fks.ed.jp



スーパークリーン作戦終わる

14日(月)、晴れ渡る青空の下、今年度第1回目のスーパークリーン作戦が行われました。

本校では、ボランティア活動のひとつとして、毎年5月と10月の2回、子ども達の通学路や自宅周辺の清掃活動を行っています。第1回目となる今回は、多数の保護者の皆様のご協力もあり、大変充実した活動となりました。

子ども達は通学班ごとにめあてを持って、担当場所の清掃活動に一生懸命取り組んでいたようです。

今回、お忙しい中にも関わらずご協力くださった保護者の皆様、誠にありがとうございました。



第1回スーパークリーン作戦を終えて～子ども達の作文・協力保護者の感想より

われやすいビンがいっぱいありました。あと、もえるゴミがたくさんあったけど、みんなでひろいました。

1年 原田愛莉紗

たばこのすいがらやあめのゴミやガムのかみやしんぶんしやコーヒーのあきかんがいっぱいあってびっくりしました。そして、とてもきれいになって、とてもうれしかったです。

2年 川田 有沙

きょ年は、ゴミが多かったけど、今年はゴミがすくなかったのがうれしかったです。田んぼの中にもゴミがあったので、ゴミをすてないでほしいなあと思いました。いいねがそだたないので、すてないでください。

3年 松川 涼太

ごみのしゅるいで一番多いと思ったのは、たばこのすいがらです。わたしは、なんであんなにたばこをすてる人がいるのかなと思いました。ほかにたくさんあったごみは、ガラスやアルミホイルでした。歩道にはあまりごみはありませんでしたが、道路(車道)にはたくさんごみがありました。わたしはごみを見つけたらひろうようにして、ごみをへらしたいです。

4年 樽川明希子

スーパークリーン作戦をやるたびに、だんだん地域がきれいになってきたのでうれしいです。ゴミはたくさんあったけど、わたし達がスーパークリーン作戦を続ければ、ゴミがへっていくので、今度のスーパークリーン作戦でもがんばりたいです。

5年 吉田 葉月

ぼくがスーパークリーン作戦をしてわかったことは、草があると見えないのでそこにごみを捨ててしまうということです。

前より少しごみの量が減ったのでよかったとは思いますが、やっぱりごみを捨てるのはだめだと思います。

6年 樽川 主明

普段、何気なく車で通る道ですが、歩いて通ると、あちらこちらに空き缶やおかしの袋、タバコの吸い殻などがたくさん落ちていることにびっくりしました。今後もぜひ、続けていていただきたい活動だと思います。私も、時間の都合のつく限り、参加したいと思います。そして、子ども達が安全で安心な通学路づくりをしたいと思います。

今回協力してくださった保護者の方の感想より